



あの日、スーツを 脱ぎ捨てたあなたへ。

第2話：聖夜の裏切りと、静かなる防波堤

覚醒と暴走の境界線



私はイケイケだった。
しかし、そこには「拡大」ゆえの落とし穴が待っていた。



2人目の担当、YGという男

- 役職：**OFC** (オペレーション・フィールド・カウンセラー)
- 役割：最高の「参謀」であり「ブレーキ役」
- イズム：熱い情熱を秘めた男

“

「オーナー、行きましょう。でも、やりすぎには注意してくださいよ」

聖夜の通告



「オーナー、どういふことや！」

正直者が馬鹿を見るのか

私の店：ルール遵守
= 定価



競合店：ルール違反
= 安値



私はルールを守った。なのに、ルールを破った店の方が安い。
私はYGさんと呼び出し、怒りをぶつけた。

静かなる決断



YG: 「オーナー、行きましょう」

Owner: 「え？ どこへ？」

YG: 「監督さんのご自宅です。
私も一緒に謝りに行きます」

沈黙の40キロ

板挟みの現実：

- ・ 本部の建前 (HQ Policy)
- ・ 現場の現実 (Store Reality)

車内は重苦しい沈黙

スーツ姿の二人

「この度は、申し訳ありませんでした！」



「あんたのところは真面目やな」

彼は店を守っていた



言葉だけでなく、40キロの道を共にし、頭を下げてくれた。

その「**誠実さ**」こそが、私の店を守っていたのだ。

別れと、風の噂

+2 Years

地区異動 (Transfer)

+4 Years

本部退社
(Resignation from HQ)

「彼ほどの男なら、どこでもやっていけるだろう」

10年後の再会



少し白髪が混じり、
落ち着いた雰囲気

「オーナー、
ご無沙汰しております」

プロフェッショナルとしての帰還

税理士 (Tax Accountant)

YG

有限会社 吹田総業 顧問税理士

本部退社後、猛勉強の末に難関資格を取得。

心を守った男は、今、数字を守る



現場の心を守った



会社の数字を守る

あの夜のドライブがあったからこそ、誰よりもあなたを信頼して通帳を預けられる。

戦友との経営

立場は変わっても、私たちは「戦友」です。

データはAI。
決断は社長。

社長の着想日誌

この話の続きや、ここで語りきれなかった
ディープな経営ノウハウは公式サイトへ。

<http://fkt-office.com/>

※私のオフィシャルホームページです。間違いないようにしてください。

有限会社 吹田総業 代表 フキタ